



社会的養護の「その後」を考える ～移行期のリービングケアと退所後のアフターケア～

社会的養護のケアを離れた後、若者たちはさまざまな困難や生きづらさに直面しています。また、自立支援制度の拡充により、こども一人ひとりに応じた自立の形が考えやすくなつたものの、その活用には施設ごとに差があるのが現状です。

本研修では、社会的養護を離れた後のケアリーバーの現状から、施設入所中（インケア）の段階でできる支援、リービングケアを行う際に必要な視点や取り組みについて、みなさんと共に考えます。更に、母子生活支援施設や乳児院に繋がっていく、親になったケアリーバーを支える実践にもふれながら、それぞれの現場に必要な取り組みについて学びます。

2026 2/12 (木) 13:00 - 16:00



講師

芦田 拓司 氏
(西日本こども研修センターあかし
研修企画員
社会福祉士／社会福祉学修士)

児童養護施設の統括職として施設運営および職員育成に従事し、自立支援コーディネーターとして子どもたちの自立支援・リービングケア・アフターケア体制の充実に尽力してきた。また、高等学校のスクールソーシャルワーカーとして教育現場との連携支援を行うなど、多角的な実践を重ねてきた。現在は、児童養護施設のスーパーバイザー、自治体委員、認定NPO法人IFCAの運営等を担い、社会的養護の質の向上と支援者の育成に取り組んでいる。2023年より現職。

対象

児童養護施設・乳児院・母子生活支援施設・
児童心理治療施設・児童自立支援施設で
概ね経験年数2年以上の職員、または管理・
監督的立場にある方

定員

30名 ※申込多数の場合は、神戸市在勤・
在住の方を優先して抽選いたします。

受講料

3,000円 (事前振込み)



ポイント

- 社会的養護経験者の声を元に、日々の支援を振り返ります
- 社会的養護施設で働く意義を再確認します
- 子ども一人ひとりに応じた自立のタイミングを共に考えます



申込

市民福祉大学ホームページ

(<https://www.shiminfukushidaigaku.jp/>)

※お知らせいただいた個人情報は
研修にかかる事務以外には使用いたしません。



お申込みページ



会場

こうべ市民福祉交流センター



- 各線「三宮」駅下車、徒歩15分
- 市営地下鉄海岸線「三宮・花時計前」下車、徒歩7分
- 市バス7系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ

(左の二次元コードでGooglemapへ移行します)